



キルギス共和国日本語教師会会報

<特別号>2022年7月31日発行

Вестник Ассоциации
преподавателей
японского языка
Кыргызской Республики
специальный номер от 31.07.2022 г.

◇本号は「2022年キルギス共和国日本語弁論大会入賞者スピーチ紹介」特別号です。

◇2020年と2021年の「キルギス共和国日本語弁論大会（国内大会）」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため止むを得ずオンラインによる開催となりましたが、今年はキルギス国立総合大学本館講堂を会場に、日本語学習者が集い日本語によるスピーチを披露しました。入賞者6名のスピーチをご紹介します。スピーチテキストの後にはそれぞれ審査委員の方々からの応援コメントを添えました。また、中央アジア日本語弁論大会キルギス代表学生を引率したママシェフ会員と出場者の報告記事も掲載しています。

◇入賞者スピーチは、各教育機関教員の皆さんにも、日本語を学んでいる人たちにも、ぜひ読んでいただきたいと思います。これから弁論大会出場を目指している人にとっては、テーマの選び方、テキストの構成、主張の展開の仕方など、入賞者のスピーチを読めば参考になるヒントがたくさん発見できるはずです。

（※ 作文や読解の教材として使用される場合は、必ず出典を明らかにした上でご利用ください。）

◇スピーチ原稿の公開を承諾してくださった皆さん、中央アジア大会出場の報告文を寄稿してくださったキルギス代表の皆さん、ありがとうございました。今後も大きな目標に向かって挑戦し続けてください。

【2022年 キルギス国内日本語弁論大会 入賞者（6名）】

順位	氏 名*	スピーチタイトル	所属教育機関
1	ジュマリ・クズ・エリナ	ミグラント	オシュ国立教育大学
2	アブドゥモムン・クズ・アイダナ	キルギス・ランチタイム	オシュ国立教育大学
3	バザルクーロフ・デニス	失敗から次の挑戦へ	ビシケク国立大学
4	アスカルベコヴ・ダスタン	初恋	アメリカ中央アジア大学
5	イストミニ・リナット	私と日本語の縁のこと	キルギス共和国日本 人材開発センター
6	カナットベコワ・レイラ	人生は一つしかない	キルギス国立総合大学

【注*】氏名のカタカナ表記は出場申込書に基づきます。

【第25回 中央アジア日本語弁論大会 キルギス共和国代表（4名）】

▶ ジュマリ・クズ・エリナ	▶ バザルクーロフ・デニス
▶ アブドゥモムン・クズ・アイダナ	▶ イストミニ・リナット**

【注**】国内大会4位のダスタンさんが都合により参加できなかったため5位のリナットさんが繰り上がりました。

2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

1位 ジュマリ・クズ・エリナ 「ミグラント」



外国へ働きに行く人をキルギスでは「ミグラント」と言います。今トレンドになっていることばです。普通の意味の「移民」というより、「出稼ぎ労働者」といった方がわかりやすいかもしれません。

私も高校を卒業してミグラントになりました。大学に進学するお金がなかったからです。私には両親がいません。私は8歳の時に母を病気で亡くしました。父はその2年後、事故で亡くなってしまいました。私はどうしても大学に入りたかったのですが、私は母に死なれた時から自分のことは自分で責任を持たなければならぬことがわかつっていました。ですから、外国で働いて自分で入学費用を稼ぐことにしました。トルコで1年間働いて大学2年分の授業料を稼ぐことができました。私は今オシュ国立教育大学で日本語を勉強しています。

3年生になる前、去年の夏休みに、授業料を稼ぐためにモスクワの縫製工場でアルバイトをしました。仕事は朝の7時から始まり、夜中近くまで続きます。工場にはキルギス人の「ミグラント」が大勢働いていました。私より少し歳の若い人から50歳過ぎの人まで、だいたい50人ぐらいでした。部屋が3つしかないアパートに15人で住んでいました。仕事をする時間は12時間以上です。みんな、いつも疲れていました。

ミグラントたちのところには、給料日になったらキルギスから連絡が来ます。「今月はいくら仕送りしてくれますか?」という電話です。仕送りは親やキルギスに残した子供のために使われます。兄弟や親戚の結婚式の費用にもなります。でも、ミグラントの給料は決して高くはありません。多くて2万5千ソムですから300ドルぐらいしかありません。

大学を卒業していてロシア語が上手だったらもっと給料のいいところで働けますが、多くのミグラントたちはロシア語があまり話せません。

だから、私は必ず大学に入ろうと決めました。大学を卒業した人としていない人の差がとても大きいからです。モスクワのミグラントたちはロシア語があまり話せないし、知識の幅もせまくて、そのせいで色々困っている様子を自分の目で見たからです。

高校を出てすぐに外国で働くうと思っている人に言いたいことがあります。高校を卒業したらまず大学に入って自分の好きな分野で知識を身につけてください。しっかり勉強してください。もちろん4年間の授業料を支払うのは大変です。でも、自分の明るい将来のために歯を食いしばってがんばってほしいです。父親や母親にも言いたいです。子供の将来をよく考えてください、高校を卒業したばかりの子どもがつらい思いをして働いて、仕送りしてきたお金を結婚式やトイなんかのために無駄遣いしないでください。

私は、外国に働きに行くのが絶対に良くないとは思いません。でも、どんなことでも目的がしっかりしていないとダメだと思います。外国に行って働くうと思う前に、どうして勉強を続けるのではなくて働くのか、どうしてキルギスではなくて外国で働くのか、お金を稼いでそれから何がしたいのか、将来の夢はなんなのか、考えておくことはたくさんあります。

私は自分の将来のためにミグラントとして働きました。働いたお金を大学で学ぶという自分の夢のために使いました。ですから、毎日が充実しています。

* * * * *

【審査委員から】

- 論旨が明確で実体験にもとづく、人々に訴えかけるスピーチでした。
- 感動しました。強い心を持つあなたを尊敬します。
- 辛い思いをしながらも前向きな発表でした。発表も素晴らしいかったです。

2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

2位 アブドゥモムン・クズ・アイダナ 「キルギス・ランチタイム」



キルギスではランチタイムのことを「アベッド」と言います。ロシア語で「お昼ごはん」という意味です。皆さんのお昼休みは何時から何時までですか。12時から1時までですか。それとも12時半から1時半までですか？実は、キルギスではお昼休みは何時から何時までなのか、はっきりしていないのです。

私は高校を卒業したら日本に私費留学する予定でした。父に手伝ってもらい、留学手続きのために必要な書類を準備していた時のことです。学校の在籍証明書に村長のサインが必要だったので役場に行きました。時刻は11時過ぎでした。秘書の人は「村長は出かけたけれど、アベッドが終わったら帰ってくるでしょう」と言いました。父は、「それでは、何時ごろになりますか？」とたずねましたが、秘書の人はその質問には答えないでどこかへ行ってしまいました。

私は父に「案内板に『アベッドは12時から1時まで』と書いてあるから1時に帰ってくるに決まっているでしょ。なんでわかりきったことを聞くの？」と聞きました。すると父は、「確かに、昼休みは1時までと書かれているけれど、必ず1時に戻ってくるとは限らないからね」と言いました。

私たちは廊下の椅子に座って村長を待ちました。1時半を過ぎても村長は帰ってきません。2時半ごろ帰ってきた秘書の人が廊下で待っている私たちを見て「村長はもうここには来ませんよ。知り合いのお葬式に行ってしまいましたから」と言いました。3時間も待たされて私は腹が立ちましたが、父は仕方がないという顔をしただけでした。その日は諦めて家に帰りましたが、次の日は朝早くから役場に行って、ずいぶん待たされましたが、どうにか在籍証明書をもらうことができました。

在籍証明書の他に健康診断書が必要でした。証明書をもらうために病院に行きましたが、とても混んでいて昼休みの時間になってしまっても順番が来ません。看護師さんに「もう昼休みだから外で待っていてください」と言われて、追い出されてしまいました。病院の案内板にもお昼休みの時間が書かれていましたが、実際にはいつまで経ってもお昼休みは終わらないみたいです。結局、必要な書類を締め切りまでにそろえることができなくて、私は留学できませんでした。

どうしてランチタイムが守られないのか父に聞いたら、キルギスでは昔からランチタイムは時間が決まっていない。みんな好きなようにランチタイムをとることに慣れてしまって、時間を守ろうとする人がいなくなつたのだと言われました。私は、こんな「キルギス・ランチタイム」はやめなければならないと思いました。待たされるのが嫌なら、自分も人を待たせてはいけないと思います。

私は自分から始めることにしました。友達や親戚の人にも「自分勝手なランチタイムはやめよう」と、機会があるたびに話しています。一人ひとりが自分の時間も相手の時間も大切にするようになったら、いつかは「キルギス・ランチタイム」ではなく、案内板に書いてある通りの「普通のランチタイム」になると信じています。



【審査委員から】

- 発音がすばらしい。
- 日本語能力の高さがわかる。
- 日本人の私にも、アイダナさんのお話には共感できることができた。

2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

3位 バザルクーロフ・デニス 「失敗から次の挑戦へ」



今までに一度も失敗したことがないという人はいないと思います。テストでいい点が取れなかつとか、朝寝坊して遅刻してしまつたとか、小さな失敗は毎日あります。あまりよく準備しなくてテストがうまくいかなつたら、ちょっとがっかりするだけですし、大事な面接試験に遅刻したんじゃなかつたら、今度は気をつけようと思うくらいで、反省することもなくあまり深刻に考えないことが多いので、また同じ失敗を繰り返したりします。でも、自分自身、長い間ずっと真剣に準備してきたことが失敗に終わった時は、目の前がまくらになります。精神的に落ち込んで、何もしたくなくなります。

1年生の終わりに、日本の文部科学省の留学試験を受けました。日本語の他に英語と数学の復習も必要でしたが、初めてだったので、どんな準備をしたらいいのかわかりませんでした。自分でもあまり期待していなかったので、不合格という結果にそれほどがっかりしませんでした。でも、どんな問題が出るのか大体わかったから来年を目指して勉強を続けようと思いました。毎日受験勉強をしているうちにだんだん「これだけがんばっているのだから必ず合格しなければならない！」と、自分で自分にプレッシャーをかけるようになりました。

その結果、2回目の挑戦も失敗に終わりました。努力が足りなかつたのだろうか、どこか問題を読み違えていたのだろうか、など、色々考えてもどうして合格できなかつたのかわかりませんでした。ただ、1年間を無駄にしてしまつたという残念で悔しい気持ちでいっぱいでした。目標を達成できなかつたという現実から私はなかなか立ち直ることができませんでした。家族や友人たちが「また頑張ればいいから」と励ましてくれるのが、かえつて鬱陶しくて、友達とあまり付き合わなくなりました。

私は、勉強への意欲も、何かに挑戦したいという気持ちもなくしてしまつました。それでも、日本語の授業だけは真面目に出席していました。勉強したらストレスを忘れると思ったからです。でも、留学試験に失敗してからは自分の目標がなくなつて気分はいつも沈んでいました。授業にも集中できなくて、先生に相談しました。たぶん、今まで聞いたのと同じような慰めの言葉を言われるのだろうと思っていたら、先生は「この部屋の中にどんなものがありますか？」と質問したのです。私は、部屋の中にあるものの名前を答えました。「他には？」と先生はどんどん聞いてきます。私は次々答えていきました。やがて先生は質問するのをやめて、こう言いました。

「この部屋の中にそれだけたくさんるものがあるのだから、世界中にはどれだけのものがあるか数えきれませね。でも、人々はどうやってそんなにたくさんのものを作ってきたのでしょうか。途中で作るのをやめていたらこんなにたくさんのものはなかつたかもしれませんね。何度も試行錯誤したのだと思います。多くの失敗のおかげでたくさんのものが生み出されてきたのだとは思いませんか。」

先生の言葉を聞いて、考えました。そうか、人間は失敗から次の挑戦へ、また失敗してもさらに挑戦し続けてきたんだ、失敗は結果ではなくてプロセスなんだ、と思いました。私は、これからはプロセスを楽しみながら目標に向かっていこうという気になつてきました。



【審査委員から】

- ✿ 日本語が上達されましたね。これからもたくさん挑戦してください。
- ✿ 感情のこもつた良い発表でした。エピソードもわかりやすく、心に響きました。

2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

4位 アスカルベコヴ・ダスタン 「初恋」



私たちはすてきな人に出会い、幸せな思い出を作ったり気持ちを分け合ったりいろいろな経験をします。今日はそんな僕の経験をお話ししたいと思います。

僕はオンラインゲームであるすてきな人に出会いました。PUBGというゲームのオンラインパーティーに誘われ、彼女もそのパーティーに参加していました。彼女は声が小さくて不器用な女の子でした。毎日、ゲームで遊んですぐ仲良くなりました。どんなことを言つてもうけとめてくれて、僕は彼女の言動や性格が好きになり、同じ学校に通うことにして、そこではじめて会うことができました。僕も彼女も最初は、緊張し過ぎて一言もはなせませんでした。でも少しずつ話し始めてお互いに好きだという気持ちが確かなことがわかり、付き合うことになりました。これが僕の初恋でした。

彼女と過ごしていた時間は、学校生活で一番幸せな思い出です。人生は、バラ色でした。すべての物が色づいたようでした。たべものはふつうよりおいしくなり、くうきはいつもよりきもちよくて、いっしょに見ていたアニメはよりおもしろくて、ずっとこのままだったらいいなって思わせるような恋でした。

皆さんもそのような気持ちになったことがありますか。ところが、そのような幸せな毎日は、ある日から喧嘩ばかりの悲惨な日々にかわり始めました。僕は彼女と仲直りしようと考え、その結果、自分を変えることばかり考えました。彼女との毎日は楽になったものの、僕は、自分の思いや考えを押し殺したり、ただ受け身の姿勢を取り彼女に合わせました。彼女とのトラブルを避けることばかり考えました。

僕は、自分が変わって行ったのに気づきました。そして、自分の考え方には自信がなくなり、相手に合わせるだけで自尊心をなくしてしまいました。

ある日、大学紹介イベントの担当をしていて、大学にきょうみのある人たちと話しているとき、自分の言っていることは正しいのに、自信がなくなり、ちゃんとした説明ができなくなりました。

僕からは笑顔が消え、明るさもなくなり、くらい人間になっていったように思います。そのことを彼女に話しても、それがきっかけでまたけんかになりました。彼女との付き合いは長かったのでお互いの本当の性格や価値観を、知ることができました。でも、お互いの、性格や価値観の相違を受け止められないことがきっかけでけんかすることに気がつきました。

僕の初恋は、こんな感じで終わりました。この初恋からの学びは、自分の意見をしっかり持つこと。人の違う価値観や考え方を尊重すること。ポジティブであること。人生でやりたいことや好きな人がいることは素晴らしいことです。

どんなことでもどりょくすることは大事でしょう。でも、物事をありのまま受け止めるということも幸せになるための一つのとても大切なことだと思います。頑張ってポジティブな自分を取り戻そうとするうちに新しい経験が増え、そしてそれが成長につながっていると思います。



【審査委員から】

- 発音、表現の多彩さがすばらしい。
- 誰にでも経験のあるわかりやすいテーマで非常に面白かった。



2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

5位 イストミン・リナット

「私と日本語の縁のこと」

尊敬する先生方、皆さん、はじめまして。私の名前はリナットです、出身地はキルギスのビシュケクです。勉強のため中国の北京で、約7年間生活していました。

北京で生活していたとき、勉強以外に、色々な活動に参加したり、ボランティアになったり、司会者になったり、ステージに出演したりして、とても楽しみました。今は、まだインターネットで、北京師範大学の博士課程を受けています。それと同時に、博士論文を書いています。

今日のスピーチのタイトルは「私と日本語の縁のこと」です。皆さん、今日は、どうぞよろしくお願ひします。

日本語の勉強をはじめて、1年半になります、だから私の日本語があまり上手ではありません。皆さんごめんなさい。まだ上手じゃなくても、私にとって、日本語は夢の翼のような存在です！私は一生を通じて、日本語と日本の素晴らしい伝統と現代の文化に興味を持っていました。

子供の時からよくジブリスタジオの色々なアニメを見たり、ビデオゲームのファイナルファンタジーで遊んだり、宇多田ヒカルの歌を聞いたりして、日本に恋をしました。子供の時から今までにこれらの芸術作品に触発されています、毎日楽しめます。だから、日本の美しい風景と豊かな文化が大好きなので、ずっと自分の目で見たいと思っています、とくに東京の秋葉原に行きたいです！

幸いなことに、10歳の時、プレーステーションクラブの先輩が、初めて日本語の文字を教えてくれたので、その時に私は日本語のドアを開けました。そしてファイナルファンタジーのおかげで、はじめて日本人によって造られた美しい作品に触れることができました。

子供のときもロシア語で日本のおとぎ話をよく読みました。でも、小学校から高校まで日本語の勉強は正規の授業じゃないので、日本語の勉強ができなくなってしまいました。大変残念でした。

日本語の勉強ができなくなったら、日本に行く機会がなくなり、日本人とチャットもできなくなり、日本のドラマやマンガも理解できず、日本の歌も歌えない、私の好きな宇多田ヒカルの歌も分からず、日本の文化や文学を知ることもできない、たくさんのことできません。だから、「日本語は私の夢の翼のような存在です」と言いました。

昨年の9月から、私は日本センターで日本語の勉強をはじめて、毎日日本語を勉強しているので、私はどんどん幸せになっています。

日本センターの良い先生と面白いコースによって、私の日本語が段々上手になっています。日本センターのおかげで、私の少年時代の夢はどんどん近くなっています。

将来、私はきっと日本に行きます！日本人の友達と協力して、両国の友情に貢献します！日本語の翼で夢に向かって飛びます！

尊敬する先生方、どうもありがとうございました！皆さん、ご清聴ありがとうございました！



【審査委員から】

- 日本語、日本文化への愛着が感じられる。心のこもったスピーチで情熱を感じた。非常にはつらつとした話し方でした。
- 表現力、発音が素晴らしかったです。これからも色々なテーマに挑戦してください。



2022年キルギス共和国日本語弁論大会スピーチ

6位 カナットベコワ・レイラ 「人生は一つしかない」

みなさん、どんなときに自分を幸せだと思いますか。この人生では幸せなときがたくさんあると思います。私は幸せな人間です！今日も幸せです。私はみなさんの前で2本の足で立って、2本の手を使って日本語でスピーチを書いて、話して、この会場にいらっしゃるみなさんを見ることができ、応援する声も聞くことができます。だから私は幸せだと言えます。今の幸せを感じる理由について話をていきたいです。

去年、私はキルギス日系学校のインターンシップをしていました。私はその学校の教師の手伝いをしていました。学校では様々な年齢の子供たちがいましたが、私の注意を引いた興味深い一人の子供がいました。他の子供と違って、特別な子供でした。

私は子供に絵を描かせたり、ゲームをさせたり、簡単な日本語も教えていました。彼は限られた行動にも関わらず、反応が早く、他の子供より優れています。彼は活発で他の子供と一緒に楽しんでいましたが、彼に対する他の子供たちの態度が私を悲しませました。子供たちは彼と一緒にあまり遊びたがらなくて、いじめっていました。私はその子供が、他の子供たちと一緒に遊びたい、みんなと同じでいたいという思いが強いことに気がつきました。私はその子供に気をつかい、他の子供と同じだということを話しました。この子はみんなのようにゲームができるし、絵も描けるし、ただ動くのが少しゆっくりしているだけだと子供たちに説明しました。私の説明のあとは子供のほとんどが承知し、少しずついじめをやめて、親切になりました、一緒に楽しくやり始めました。その子供は私にとってみんなと同じでした。

みなさんはよくご存じだと思いますが、体が不自由でも才能があり、私たちを感動させる人が世界中にはいます。たとえば、物理学ノーベル賞を受賞したスティーブン・ウィリアムです。そしてグラミー賞を受賞した有名な目の見えない音楽家レイ・チャールズです。

この人たちは体が不自由にもかかわらず、みんなと平等であることを世界中の人に見せました。何かをするために、体の不自由があるかないかでは限られないと思いました。

体の不自由な人の生活について、インターネットを見て驚いたことがあります。それは、日本の駅での体の不自由な人のための施設でした。電車が止まったとき、駅員が車椅子用のスロープを用意したり、その人が降りるのを手伝ったりしていました。

でも、私の国では障がいのあるひとの生活は難しいです。外では障がい者のための特別な施設がありませんから、一人で出かけて、動くのは大変です。

私は障がいを持った人でも幸せな生活ができるように色々と頑張りたいと思っています。例えば、日本のようなバスに乗るときや降りるときに使う設備を作りたいです。そして、子供のころから体の不自由な人を理解して応援するように育ったほうがいいと思います。

障がいがあっても自分は社会でみんなと同じだという気持ちを持って生きるように、また、私たちもみんな同じだという考えをもっていきたいです。そのためみんなが頑張ってほしいです。



* * * * *

【審査委員から】

- 発音の練習に力を入れるべき。
- 内容の趣旨が明確である。
- テーマについて良く調べられていると感じた。

第25回中央アジア日本語弁論大会（5月21日）報告



◆「第25回中央アジア日本語弁論大会」は、カザフスタン日本語教師会の主催で2022年5月21日アルファラビ記念カザフスタン国立大学を会場に開催されました。

◆キルギスからの審査委員を務めたのはキルギス国立総合大学のドゥイショノワ・ナリーザ先生、質問員は日本センターの坂下太一先生（国際交流基金日本語専門家）、引率教師として出場者に同行したのは筆者でした。また、応援者としてオシュ国立教育大学講師2名も大会に参加しました。

◆カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンの5共和国の代表は合わせて17名でした。

◆キルギスの代表4人はとてもよく発表できたと思います。イストミニン・リナットは出場者の中で1番最初の発表でしたが、緊張せず表情も豊かで、スピーチの後の質問にもよく答えられました。アブドゥモモン・クズ・アイダナとジュマリ・クズ・エリナは、表情や発表内容はよかったです、日本語で答えるのがあまりうまくいきませんでした。バザルクーロフ・デニスに関しては、発音がとてもいいと多くの人に言われました。スピーチはキルギス国内大会の時の方が良かったと思います。でも、日本語でとても良く質問に答えられました。

◆ウズベキスタンの代表4人は全員が入賞しました。スピーチの内容もパフォーマンスも質疑応答も、とにかくすべてが素晴らしい、感動しました。

◆ウズベキスタンの代表は、それぞれが日本語ネイティブの先生の指導を受けているそうで、とてもうらやましく思いました。

◆タジキスタンからは代表2名が出場しましたが、テーマも発表も質疑応答もよかったです。やはり日本人の先生がいてくれるのは心強いですね。

◆トルクメニスタンは、オンラインで2名が発表しました。民族衣装を着てとても素晴らしい発表をしましたし、質問の答えも悪くはなかったです。

◆弁論大会の後、駐カザフスタン日本国特命全権大使主催の歓迎交流会が行われました。交流会では大使をはじめとして、各国の日本語教師や弁論大会参加者の皆さんと楽しく交流ができました。

◆中央アジア日本語弁論大会翌日は、日本語教育セミナーが行われました。セミナーでは弁論大会実施についての反省会もあり、ワークショップも行われましたが、我々キルギス一行は、帰りの飛行機の時間が迫っていたため残念ながらワークショップには参加できませんでした。

◆キルギスは6位入賞を果たしました。何より、賞とは関係なく、国際大会で堂々と発表し、日本語を学ぶ仲間たちと交流できたことが出場者全員にとってこれからも日本語を学び続けていく上で大きな励みとなつたに違いありません。

ママーシェワ・ジィデグーリ
(オシュ国立教育大学)

審査結果

- | | |
|----|---|
| 1位 | シャホボフ・ジャヴォヒル（サマルカンド国立外国语大学）「一番悪い人」 |
| 2位 | セリクベコワ・ヌライム（アルファラビ記念カザフ国立大学）「夢を実現できる？できない？」 |
| 3位 | アスリエヴ・フィルズ（サマルカンド国立外国语大学）「マイウェイー私の生きる道」 |
| 4位 | ホジャエフ・ベクゾッド（タシケント国立東洋学大学）「今まで聞かれたもっとも多い質問」 |
| 5位 | マムジョノフ・ハサン（ウズベキスタン日本センター）「私の一部」 |
| 6位 | ジュマリ・クズ・エリナ（オシュ国立教育大学）「ミグラント」 |

Жумали кызы Элина (ジュマリ・クズ・エリナ／オシュ国立教育大学)

Ошский Государственный Педагогический Университет



► Здравствуйте, я Жумали кызы Элина из Кыргызстана. 21-мая 2022-года приняла участие в 25-конкурсе ораторского искусства на японском языке среди стран Центральной Азии, как Казахстан, Узбекистан, Таджикистан, Туркменистан, а также Кыргызстан, где из 17-ти участников получила призовое 6-место. Сам конкурс проходил в Казахстане, в городе Алматы. Это был мой первый опыт в участии именно такого конкурса, как конкурс ораторского искусства на японском языке среди стран Центральной Азии. До этого я приняла участие в конкурсе среди университетов в Кыргызстане, где получила призовое 1-место. Благодаря конкурсу, я получила большой опыт. Во-первых, я смогла запомнить очень много японских слов, которые и в дальнейшем мне пригодятся для общения с японцами. Во-вторых, я поняла, что должна приложить еще больше усилий в изучении японского языка. Потому что по сравнению с другими участниками, мой японский язык был еще недостаточно хорошим.

► На второй день после конкурса все участники и болельщики отправились на экскурсию по городу Алматы, чтобы ознакомиться с местными достопримечательностями. Я была в Алматы в первый раз и город показался мне очень красивым, а люди очень приветливыми. Так же я подружилась с другими участниками из других стран и у нас была возможность поговорить на японском языке. Я была приятно удивлена добротой и простотой других участников.

► Хочу выразить огромную благодарность организаторам, за их приложенное усилие к конкурсу. И особенно хочу выразить огромную благодарность моему наставнику, учителю по японскому языку Мамашевой Жийдегуль. Благодаря ей, мне посчастливилось принять участие в этом конкурсе.

Абдыромун кызы Айдана (アブドゥモムン・クズ・アイダナ／オシュ国立教育大学)

Ошский Государственный Педагогический Университет

► Здравствуйте, меня зовут Абдыромун кызы Айдана. На данный момент учусь на третьем курсе в Ошском Государственном Педагогическом Университете. 21-мая 2022 года приняла участие в 25-конкурсе ораторского искусства на японском языке среди стран Центральной Азии, который прошел в городе Алматы. К сожалению, я не смогла занять призовое место, но очень рада, что мне представилась возможность поучаствовать в таком большом конкурсе. Участники из Узбекистана выступили на высоком уровне и было видно, что их уровень японского языка очень хороший. У меня появилось еще больше желания учить японский, чтобы разговаривать свободно. После окончания мероприятия все участники были приглашены на банкет. Там мы все смогли спокойно поговорить друг с другом, и это было очень увлекательно.



► Пользуясь моментом, хочу поблагодарить организаторов за их большой труд. Благодаря конкурсу, я смогла расширить свой словарный запас, получила незаменимый опыт, который поможет мне в дальнейшем в изучении японского языка.

Истомин Ринат (イストミン・リナット／キルギス共和国日本人材開発センター)
Кыргызско-Японский центр человеческого развития



► 16 апреля 2022 года я занял 5-е место в Конкурсе ораторского искусства на японском языке в Кыргызстане, и 21 мая 2022 года я в составе делегации КР принял участие в Конкурсе ораторского искусства на японском языке среди студентов из стран Центральной Азии. В своей конкурсной речи я рассказал о себе, а также поделился с преподавателями и студентами мыслями о своей любви к японскому языку и заинтересованности в японской культуре, попутно рассказав о некоторых эпизодах из своей жизни, связанных с японским языком, и планах на будущее.

► Мне хотелось бы отметить замечательную атмосферу и организацию поездки в Алмату на центральноазиатский этап конкурса ораторского искусства, также хотелось бы выразить отдельную благодарность организаторам за эту замечательную поездку и поддержку во время участия в конкурсе. Это дало мне шанс ещё глубже погрузиться в атмосферу изучения японского языка и культуры на международном уровне, принять участие в увлекательном состязании и получить бесценный опыт. Для меня было огромной честью представлять родной Кыргызстан на сцене конкурса.

バザルクーロフ・デニス(ビシケク国立大学)　Базаркулов Денис／Бишкекский государственный университет



► 私にとって初めてのカザフスタンは、その国旗の色と同じように青くて広い空が迎えてくれました。キルギス代表のみんなと一緒にいたから、とても楽しい「外国旅行」でした。アルマティでは、街の散策も食事も、いつも仲間と過ごしました。その時間の一瞬一瞬は、全部私の人生の中で忘れられない大切な記念になりました。

► 弁論大会当日は、ガチガチに緊張していました。でも会場にキルギスの先生の姿が見えた時、緊張がほぐれて弁論大会のプロセスを楽しもうという気持ちになりました。スピーチの一つ一つを、まるで自分がスピーチしているように出場者の気持ちを感じながら聞くことができました。各国代表のスピーチには、なるほどと思わせられたり、びっくりさせられたりで、どれもとても面白い内容でした。

► 今回の経験を活かして、これからもいろいろなことに挑戦していくこうと思っています。

【記載記事における表記について：編集部より】

地名や個人名のカタカナ表記は、「ビシケク国立大学」など、固有名詞として正式な日本語名称が決まっている場合をのぞき、原則として、執筆者による表記とします。そのため、掲載記事の中で「ビシケク」と「ビシュケク」、「オシ」と「オシュ」など、記事によっては異なる表記となることがあります。

キルギス共和国日本外交関係樹立 30 周年記念
「2022 日本学・日本語教育国際研究大会」
開催のお知らせ

とき：8月20日（土）

テーマ：日本語教育（言語教育）と国際関係

基調講演1：宇山 智彦 氏
(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授)

基調講演2：アクマタリエワ ジャクシルク 氏
(新潟大学／日本学術振興会特別研究員)

詳しくはプログラムが出来上がり次第、教師会 HP などでお知らせします



読者からのお便り



いつも会報をお送りくださりありがとうございます。

65号も楽しく拝読しました。

スピーチコンテストに参加された方、応援された方にとて
とても良い経験になったことがよくわかる会報でした。

今度もずっと続いていくよう、心から応援したいと思います。
どうぞみなさまもコロナにお気をつけてお過ごしください。

2022年7月14日 M.S.

**キルギス共和国日本語教師会会報 (2022年7月31日発行)
日本語弁論大会特集 特別号**



編集：キルギス共和国日本語教師会広報委員会《会報編集部》

キルギス共和国日本語教師会事務局 E-mail: kajlt.jimukyoku@gmail.com

賛助会事務局 E-mail: kyoshikai.sanjokai.jimukyoku@gmail.com

会報バックナンバー https://www.evernote.com/pub/tm0y/kyrgyz_vestnik

KAJLT HP <http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com>

ウィキペディア <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AA%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%89%E3%82%AA%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%89>

Facebook https://www.facebook.com/JLteachers.association.KR?ref=aymt_homepage_panel
<http://jlkyoushikai-kyrgyz.jimdo.com/> /紀要-キルギス日本語教育研究/バックナンバー/

**Вестник Ассоциации преподавателей японского языка Кыргызской Республики
специальный номер от 31.07.2022 г.**